

菜の花を描く R4.3.7

手と葉っぱ、どっちが大きいかな？



葉の表面を見て「フキフキしてる！」



色を重ねて、菜の花の優しい雰囲気が出ています。子ども達は目で見ただけでなく、雰囲気まで感じ取っているようです。



さくらんぼ組の前に咲く菜の花。戸外に出ると水をあげたり、じっくり見たり…と興味を持った子ども達。せっかくだからお部屋へ持って行こう！描いてみよう！！



菜の花が壊れないように、そーっと優しく近づいて。
「いいにおいがする！」
「なんかくさい…」



描き終えた菜の花を並べていると、「これかいたんだ」と友だちと見せ合いっこ。描いた絵を見て互いを認め合う。この時間も大切に。



菜の花をじっと見て、絵具を選んでいました。どんな色かな？どうやって描こうかな？菜の花と向き合う時間、担任はそっと見守ります。緑を長く描いて茎を表現する子、茶色を使って植木鉢の土を描く子、筆を点々と描いて花びらにする子。子ども達の感性が光ります☆



見たものを描いてみる、絵具遊びから季節を感じる。1年間を通して行ってきた絵具。生活の中に溶け込み、たくさん触れてきました。絵具に向き合う時の子ども達の目は真剣そのもの。集中して取り組む姿は誇らしく、より良い時間だったと感じずにはられません。これからも絵具や様々な素材から子ども達の感性を育み、たくさんの経験をさせてあげたいと思います。

